

令和 5 年 2 月 1 日  
気象庁情報基盤部

## 配信資料に関する技術情報第 604 号

～ 日本沿岸海況監視予測システムの精度向上について ～  
(配信資料に関する仕様 No.30508、No.30605 関連)

### 1、概要

気象庁では、日本沿岸海況監視予測システム（JPN システム）によって計算した予測結果を「日本沿岸海況監視予測システム GPV（配信資料に関する仕様 No.30508）」及び「日本沿岸海況監視予測システム海氷 GPV（配信資料に関する仕様 No.30605）」として提供しています。

このたび、現在利用中の Cryosat-2、Jason-3、SARAL に加え、欧州の衛星 Sentinel-3A/B、及び中国の衛星 HaiYang-2B を新たに利用するように変更すると共に、衛星データ同化に用いる海面高度の補正值について、定数ではなく、日々の観測データから更新されるように変更します。

### 2、開始日時

令和 5 年 2 月 9 日 00 UTC（日本時間 9 日午前 9 時）を初期値とする配信資料から実施します。

### 3、変更の効果

JPN システムによる北太平洋域平均の 10 日水温予報値とその対現場観測系統誤差の鉛直プロファイルを図 1 に示します。各深さで系統誤差が減少していることが分かります。

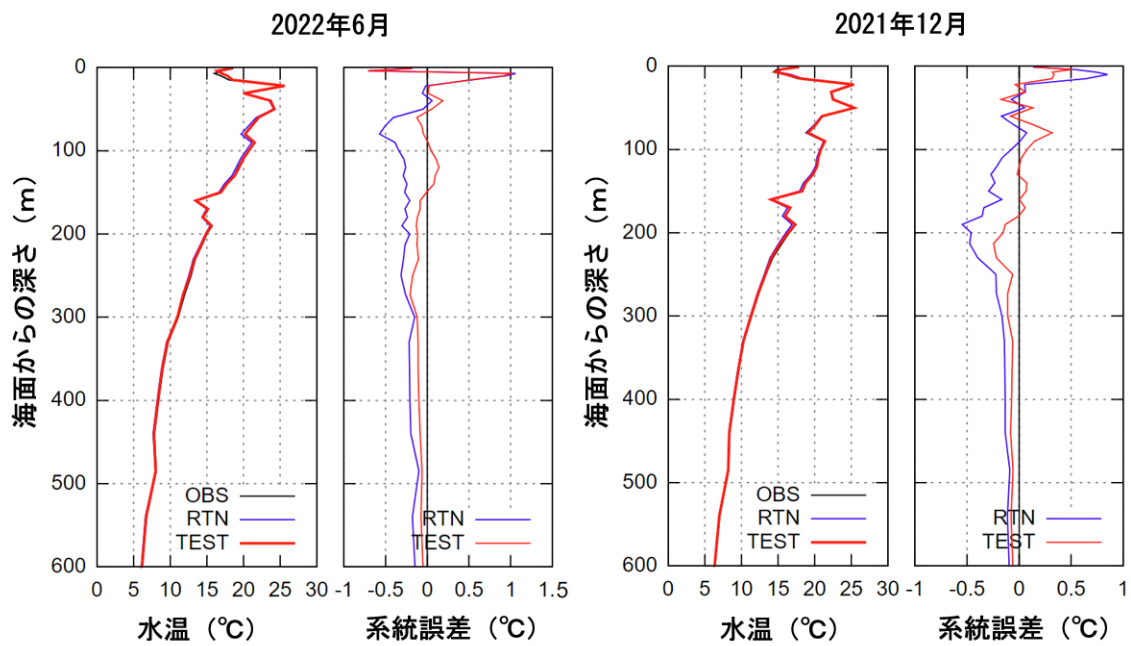


図1 JPNシステムによる2022年6月及び2021年12月を対象とした北太平洋域平均の10日水温予報値とその対現場観測系統誤差の鉛直プロファイル（青線：変更前、赤線：変更後、黒線（各事例の左図）：観測値）。